

第31回地域密着型サービス運営委員会の議事概要

1. 開催日時 平成28年6月15日(水) 14:00~15:50

2. 開催場所 神戸市医師会館 中会議室

3. 議 題

神戸市地域密着型サービス事業所の整備及び指定について

【審議】

4. 委員出席状況

9名出席, 3名欠席

5. 議事及び主な意見

(1) 神戸市地域密着型サービス事業所の整備及び指定について【審議】

○地域密着型サービス事業者の整備・指定状況について、平成28年7月1日指定予定の9事業所の概要等を説明。

《P.4~ 》

- ・質問) (P5について) 共同生活室床面積が平均となっているのはどういう意味か。
回答) 4階に2ユニット、5階に1ユニットあり、その平均である。
- ・質問) GHの医療連携加算の看護師の配置について、具体的に教えてほしい。
回答) P7は常勤として1名。P8は非常勤として1名(週1回2時間の勤務)。P9は非常勤として1名。P10は関連法人(別法人だが代表者は同じ)の訪問看護ステーションと連携。P11は、人員配置以外のところで要件を満たしていないため、現時点では加算を算定しないが、非常勤として1名配置している。
- ・質問) (P8の看護師の配置について) 日常の健康管理は週1回2時間で本当にできるのか。
回答) 基準としては満たしている。
- ・質問) 医療連携体制加算の単位数は。
回答) 39単位/日であるため、一日一人当たり400円程度。
- ・質問) (P10について) 朝と就寝時の人員が一人というのは少なすぎるのでは。認知症の方は、起床のときが特に不安定になりやすく、一日のリズムがそこでできあがるため非常に重要な時間帯である。早出がないのが気になる。仮に当初はよくても、自立度が下がれば対応できなくなるのでは。
回答) 事業所からは、比較的軽度者を受け入れる予定だと聞いている。開始時点での利用者見込み数は定員より少ないと聞いている。事業所へは意見として伝えておく。
- ・質問) 部屋の外側に鍵はついていないか。閉じ込めの恐れがあるのではないか。
回答) 外側の鍵の有無は施設ごとで異なっており、感染症発生時などに必要があって使用することがある。実地指導等でも、そのような事業所へは身体拘束の観点でも指導している。
- ・質問) (P13について) サービス提供時間が午前と午後でわかれているが、昼休みをとるといふことか。
回答) 別単位なので、午前と午後で利用者は別である。

(その他意見・要望等)

- ・非常勤の員数だけでなく、常勤換算数を表記していただきたい。
- ・認知症の方にとっては、同じ人が関わる方がよいので、非常勤職員が多いことでの悪影響が気になる。
- ・利用者としては神戸市の指定ということで安心感を持つので、神戸市としてここで出た意見を蓄積して反映していただきたい。
- ・事業者が効率化を図り、安価な施設を提供することで、利用者の選択の幅を広げることが必要と考える